



[初心者講座]古写本『源氏物語』のくずし字を読む

国立歴史民俗博物館が所蔵する国の重要文化財『源氏物語 鈴虫』（講師が編集したカラー版の複製本）を教科書として、平仮名の元となった漢字（字母）を確認しながら読みます。これは、米国ハーバード大学が所蔵する『源氏物語 須磨・蜻蛉』と兄弟本であり、鎌倉時代中期に書写された現存最古の写本の一つです。完成度の高い美術品でもあります。

募集要項		
開催日	時間	対象者
5月～1月(隔週木曜日)	15:00～17:00	全学生

申込方法		
申込期間	申込先	受講料
4月9日(月)～7月20日(金)	明浄5号館1階 キャリアセンター	2,000円 教材費※別途 1,400円

※教材：『国立歴史民俗博物館蔵『源氏物語』「鈴虫』』（新典社、2015年10月、¥1,400）



担当講師	担当講師から一言
国際交流学部 伊藤 鉄也 教授	今から800年前の、鎌倉時代の人が書写した『源氏物語』の写本である、ということを強く意識して読んでみましょう。現代の感覚で活字の本を読むこととの違いを実感してください。古写本を読む技術も一緒に身につきます。また、今読んでいる『源氏物語』にはない長大な異文についても、一緒に考えます。